

「大分に青少年科学館を作る会」2006年度事業報告

【2006年4月1日～2007年3月31日までの事業報告】

- 2006年4月～10月 「科学する心を育てるシンポジウム」報告書の作成  
2005年10月に開催された「科学する心を育てるシンポジウム」のテープ起こしと議事録の作成作業を行い、最終的に報告書として発行した。（11月12日）
- 2006年7月2日 委員会及び総会2006(サイエンス・カフェ) を開催  
午前10時より京都大学地球熱学研究施設会議室において本会委員会を開催。その後、32名の参加者を得てサイエンス・カフェを九州で初めて開催した。サイエンス・カフェ終了後は、2005年度の事業報告及び決算、今年度の事業計画等が話し合われた。（講師：山本順司先生[京都大学地球熱学研究施設]）
- 2006年11月12日 『サイエンス・カフェ 2006 Autumn』を開催  
一般開放形式としては大分で初めてのサイエンス・カフェを、60名の参加者を得て、日本文理大学で開催した。40分程の基調スピーチのあと、各テーブルに分かれてのディスカッションが行われた。（講師：木本茂夫先生[日本文理大学]）
- 2006年11月25,26日 「青少年のための科学の祭典 2006 大分大会 in別府」に参加  
別府市立北小学校で2000名余りの入場者を得て開催された。県下の小・中学校の先生を中心に、色々な科学実験やおもしろ実験を来場者に披露。本会の構成団体である「科学の祭典大分大会実行委員会」主催の下、「大分天文協会」、「児童文学と科学読物の会」からもブースが出された。作る会事務局も、入口でパンフレットを配布したり、作る会のブースを設置して、来場者にアピールした。
- 2006年11月30日 「リレートーク ～ 駅南複合文化交流施設に望むもの」が開催  
大分駅高架化工事に伴い駅南地区に建設が予定されている複合文化交流施設にどのような施設・機能を盛り込むべきかを大分市民みんなで議論し、提案していこうという会議が、大分市コンパルホールで開催された。この会議において「大分に青少年科学館を作る会」を含む5つの団体のプレゼンテーションが行われ、それぞれの立場から様々な意見が出された。（主催：大分市まちづくりの会・大分大学まちなか研究室）
- 2007年1月12日 『大分に青少年科学館を作る会』2006年度臨時委員会を開催  
2006年度臨時委員会をオンラインで開催し、新たに以下の2名の顧問を推薦した。  
大分大学長 羽野 忠 先生  
日本文理大学長 松原 典宏 先生

## 大分に青少年科学館を！

- 2007年1月29日 県内3大学学長が知事・大分市長に科学館設置の提言書提出  
大分大学の羽野 忠学長、日本文理大学の松原典宏学長、大分工業高等専門学校の大城桂作校長の県内3大学学長・校長（3名とも本会顧問）が、広瀬大分県知事・釘宮大分市長に「科学館」の設置に向けた提言書を提出した。
- 2007年1月29日 深田県教育長に科学館提案書（改訂版）を提出  
本会の船田会長等5名が、10時から20分間にわたり、大分県教育委員会において「大分青少年科学館（仮称）提案書」を深田県教育長に説明し手渡した。
- 通年活動
- ホームページ運用
  - 科学館メーリングリスト運用
  - 科学館メールマガジン発行
  - 県、市の議会・行政との連絡、意見交換等
  - 経済界、マスコミ等との情報交換等